

コウノトリ

毎週月曜日更新



# カタカタ通信

第238号

2026年7月20日

## 「DNA？絆？」

空と花はペアになり、絆で結ばれて4年目です。そんな2羽に育てられた晴（はる）と天（てん）（名前が決まりました！また改めてお伝えします♪）は、同じ親からのDNAを譲り受け、空と花に同じように育てられ、雌雄も同じオスなのに…、当たり前ではありますが、性格も同じわけではなさそうです。

晴は空のように、何事にもあまり動じません。GPSを装着した時も、30分ほどで落ち着いたのか、その後は大して気にした様子もなく、いつものようにエサを食べていました。

一方天は、花に似たのか慎重派です。GPS装着のためにつかまえられたのがショックだったのか、食欲はかなり落ちました。数日経ってやっといつものペースに戻りました。



一本足で休む姿も板についてきた晴

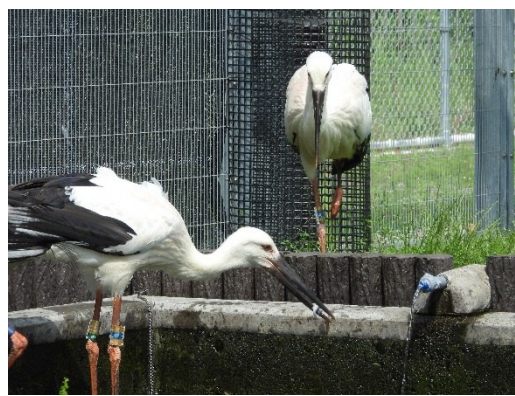


やっと回復して止まり木を歩く天

2羽が巣立って1か月ほど。自分たちで餌を食べるのも上手になり、採食量は増えてきましたが、巣立ち後も巣や地面での吐き戻し給餌はまだ続いています。なんと、親に餌をねだって吐いてもらったのに食べない、なんてことも増えてきました。2週間ほど経った頃、一旦吐き出しは見られなくなったので、親からの給餌はついに終わったかと思いましたが、その後も細々と続いています。もっと早く終わるだろうと思っていましたが、いつまで経っても甘えん坊なようです。



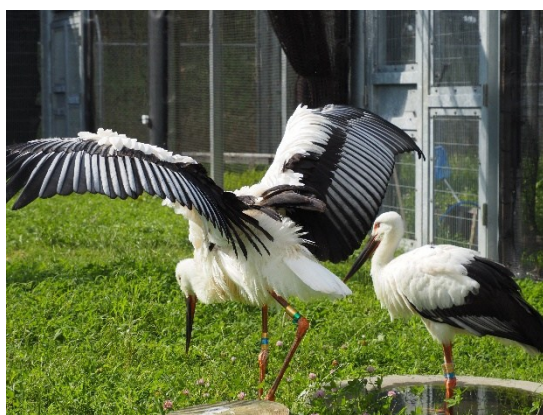
親が2羽とも給餌にきてくれました！



魚を食べる晴とやってきた天

そんな兄弟の晴と天の関係を観察していると、どう見ても晴がお兄さんのよう。天は晴の後を追って、じーっと見ては真似しているようです。時々、相手がくわえている魚が欲しくなるのか、わざわざ寄ってきて取り合っていることもあります。放鳥後も餌をとれるよう、練習として活餌を与えた時も、つかまえるのが楽しいのか、つかまえても食べずに落としては取り合いになったりと、2羽でわちゃわちゃしています。お互いに刺激を受けながら過ごしているようです。

そんな兄弟の絆がいつまで続くのかは、発信機でデータで知ることができるはず。2羽がついに天空の里から旅立つ時がやってきます。これを書いている今はまだ、いつ飛ぶのか…、どこへ行くのか…、なにを食べるだろうか…、実はまだある最後の作業・ハーネスチェックも問題なく終わられますように…、とスタッフみんなでいろいろ考えながらそわそわしています。ちなみに、天井ネットを開放する放鳥開始日は仏滅です。次の日に旅立てば大安で“いい日旅立ち”だなあ…なんて思ったり…。飛び立つのがいつになるにせよ、2羽とも無事に過ごしてくれることを祈っています。



無事に放鳥できますように

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター  
飼育担当：最長老